

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 注目すべき疾患－腸管出血性大腸菌感染症－
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 32 週（平成 29 年 8 月 7 日～平成 29 年 8 月 13 日）

今週は、夏季休暇の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。
なお、今週報告があった定点医療機関数は、インフルエンザ定点が 190 力所(指定定点数 257)、小児科定点が 129 力所(指定定点数 163)、眼科定点が 25 力所(指定定点数 41)でした。

今週の注目される疾患 図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症は前週と同じ 13 人の届出があった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、ウイルス性肝炎 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、梅毒 3 人、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症(1.94 2.29: 図 1)の定点当たり報告数は7月以降大きく増加し、過去4年と比較すると流行時期が1か月以上早い。保健所別では、鴻巣(2.33 5.30)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、1歳以下で全体の76.0%を占めている。夏型疾患では、手足口病(11.75 11.84: 図 2)及びヘルパンギーナ(2.92 1.98: 図 3)の定点当たり報告数は多い状況が続いている。保健所別では、前者は幸手(12.67 20.17)保健所管内で大きく増加し、狭山(17.69)、坂戸(17.33)、朝霞(16.75)保健所管内からの報告が多く、後者は朝霞(3.75)、熊谷(3.63)、川口(2.94)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、前者は1歳から3歳で全体の72.2%を占めている。咽頭結膜熱(1.32 0.97)の定点当たり報告数は前週より減少したが、未だ多い状況が続いている。保健所別では、坂戸(2.33)、越谷市(1.67)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎 31 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 1 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13人(類型 患者13人、 血清型 O157 10人、O血清型不明 3人)
四類感染症	E型肝炎	1人(推定感染地域 国内)
	レジオネラ症	2人(病型 肺炎型 2人)
五類感染症	ウイルス性肝炎	1人(病型 C型)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp.)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人(血清群 G群)
	侵襲性肺炎球菌感染症	3人
	梅毒	3人(病型 早期顕症 期 2人、早期顕症 期 1人)
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 RSウイルス感染症

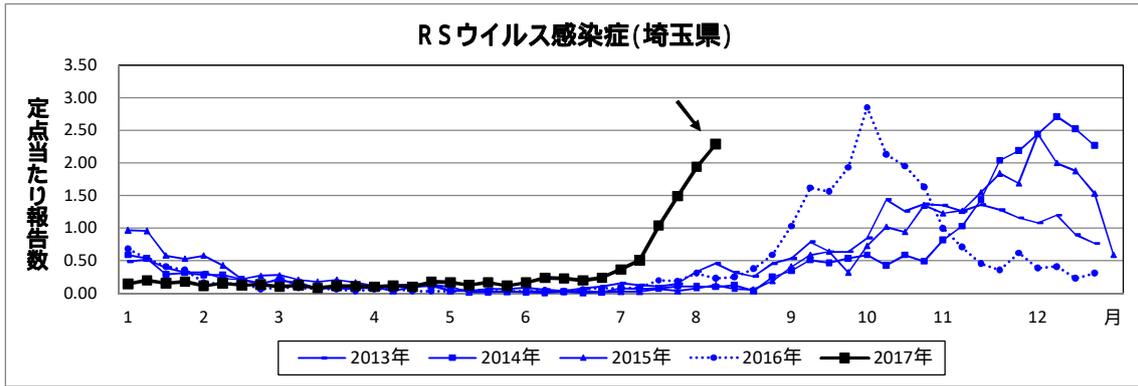


図2 手足口病

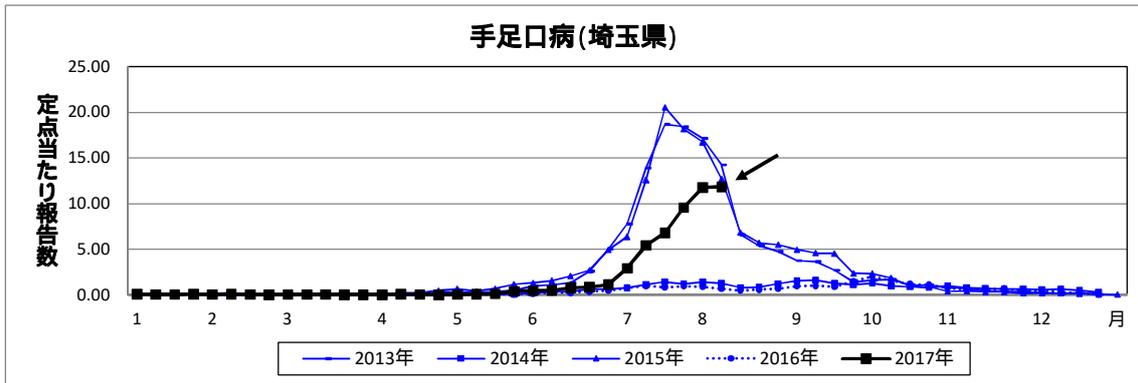
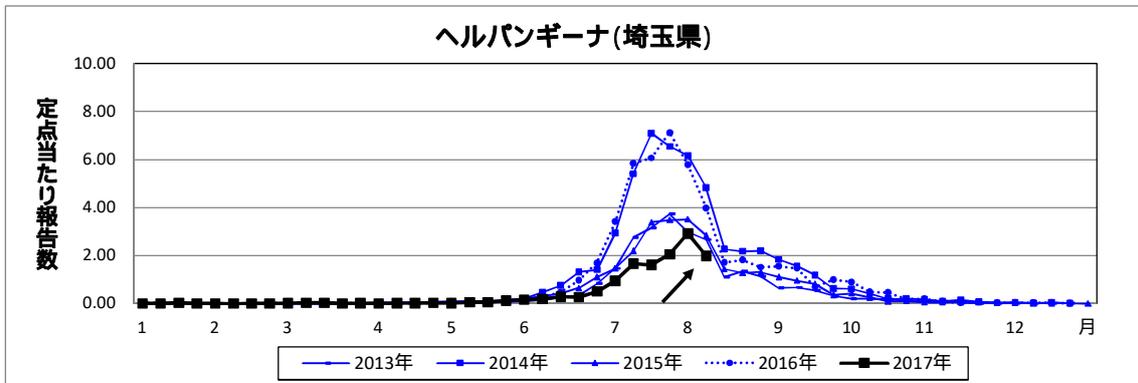
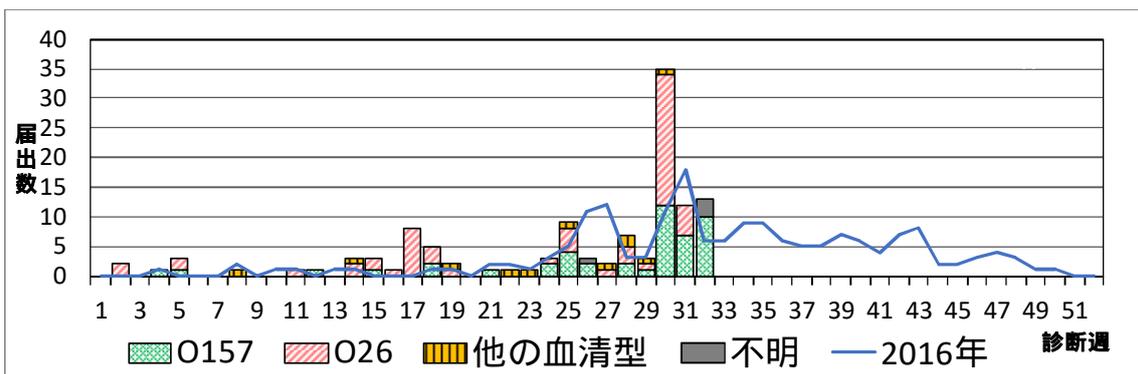


図3 ヘルパンギーナ



<注目すべき疾患 - 腸管出血性大腸菌感染症 - >

第30週(7月24日~30日)以降、O157の届出が多い状況が続いている。また、今週報告の13人のうち2人にHUS発症が認められた。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第32週)

(2017年8月15日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	13	121			
四類感染症					
E型肝炎	1	12	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		11	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	50
つつが虫病			レプトスピラ症		2
デング熱		8	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		32	侵襲性肺炎球菌感染症	3	89
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	7	水痘*		10
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	34	先天性風しん症候群		
急性脳炎		28	梅毒	3	130
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	14	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		12	麻しん		4
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	7
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	3		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(7月分)

7月の届出総数は、患者78人、疑似症患者3人、無症状病原体保有者22人の計103人で、患者数は前月と同水準であったが、前年の同月と比較すると少なかった。無症状病原体保有者の数は、前月及び前年の同月いずれと比較しても少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年7月～2017年7月)

	2016年*						2017年							累計**
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
総計	127	129	132	119	82	111	101	105	103	100	120	115	103	747
年齢階級														
10歳未満	3	2	7	3	1	4	0	2	2	4	5	2	4	19
10歳代	1	3	1	2	1	0	1	1	2	0	3	0	1	8
20歳代	19	11	7	11	9	9	7	7	7	10	9	9	8	57
30歳代	9	14	14	7	7	10	12	6	6	7	14	8	9	62
40歳代	14	17	10	10	10	13	6	15	10	7	13	8	12	71
50歳代	14	13	24	19	13	17	8	6	9	13	8	14	12	70
60歳代	16	20	20	17	9	18	25	21	18	12	19	19	10	124
70歳代	14	25	19	27	11	20	20	18	26	18	18	22	24	146
80歳以上	37	24	30	23	21	20	22	29	23	29	31	33	23	190
性														
男	75	72	81	72	45	77	70	62	62	64	75	67	59	459
女	52	57	51	47	37	34	31	43	41	36	45	48	44	288
類型														
患者	88	92	100	74	55	64	75	77	76	67	89	79	78	541
感染症死亡者の死体	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	1	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	9
無症状病原体保有者	38	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	35	22	197
病型														
肺結核	73	74	75	56	38	50	55	58	57	50	63	66	58	407
肺結核及びその他の結核	3	2	5	5	3	2	5	4	6	6	8	4	3	36
その他の結核	12	16	20	14	14	12	15	15	13	11	18	9	17	98
疑似症患者	1	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	9
無症状病原体保有者	38	37	32	44	27	44	25	28	25	31	31	35	22	197

*:2016年の届出数は暫定値

** :2017年1月からの累積届出数

7月に診断された103人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から58人の報告があり、80歳以上が14人で最も多かった。無症状病原体保有者ではすべての年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年7月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	58	3	17	3	22	103
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	4	4
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	5	0	1	0	2	8
30歳代	4	0	2	0	3	9
40歳代	8	0	1	0	3	12
50歳代	9	0	0	1	2	12
60歳代	7	1	0	0	2	10
70歳代	11	1	7	1	4	24
80歳以上	14	1	6	1	1	23

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第32週 平成29年8月7日～平成29年8月13日)

	年齢別																			
	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症	296	38	64	123	47	17	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	125	2	4	24	9	20	23	12	11	8	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	139	1	1	10	6	14	17	25	19	9	7	7	13	2	8	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	486	7	32	76	63	49	55	33	24	22	22	13	26	9	55	-	-	-	-	-
水痘	45	-	-	6	7	5	7	4	5	5	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	1,527	12	144	565	350	187	104	66	32	14	13	5	19	2	14	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	-	-	1	-	2	2	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	46	-	13	24	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	256	-	16	78	66	35	28	11	9	2	2	1	5	-	3	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	32	-	-	-	3	4	4	4	5	3	3	2	4	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	31	1	-	2	1	1	-	-	1	2	-	1	1	-	6	9	2	1	1	2
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 30週

(7月24日～7月30日)

平成29年8月16日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.31)、鹿児島県(0.53)、福岡県(0.19)、大分県(0.19)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は16例と前週と比較して減少し、4都県から報告があった。

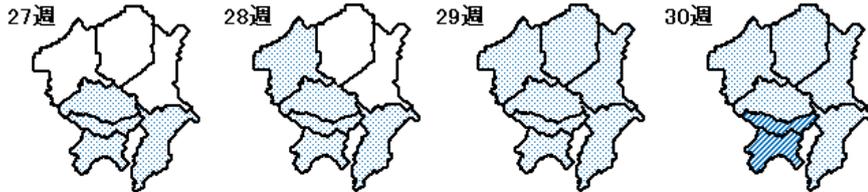
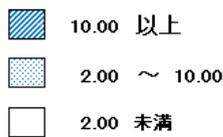
RSウイルス感染症の報告数は3,306例と第26週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.15)、沖縄県(1.71)、埼玉県(1.36)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.26)、福岡県(2.93)、愛媛県(2.76)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(8.31)、宮崎県(7.31)、福岡県(5.65)である。水痘の定点当たり報告数は第27週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岡山県(0.50)、大阪府(0.49)、滋賀県(0.47)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(25.50)、新潟県(20.61)、石川県(18.69)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(0.93)、埼玉県(0.20)、岩手県(0.18)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長野県(2.09)、鹿児島県(1.81)、愛媛県(1.35)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.13)、群馬県(1.13)、香川県(1.00)、沖縄県(0.71)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。8府県から10例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(6例)、5～9歳(1例)、40代(1例)であった。

＜関東情報＞

手足口病の定点当たり報告数は、東京都(10.86)、神奈川県(10.66)からの報告が多い。

手足口病



		平成29年 30週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	918	146	14	-	1	20	36	60	15
	定点当たり	0.19	0.10	0.12	-	0.01	0.08	0.17	0.15	0.04
RSウイルス感染症	報告数	3,306	1,199	37	20	16	233	100	405	388
	定点当たり	1.05	1.26	0.49	0.42	0.28	1.44	0.75	1.55	1.80
咽頭結膜熱	報告数	2,441	911	54	29	37	221	145	283	142
	定点当たり	0.77	0.96	0.72	0.60	0.65	1.36	1.08	1.08	0.66
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,433	1,888	155	27	127	368	333	455	423
	定点当たり	1.72	1.98	2.07	0.56	2.23	2.27	2.49	1.74	1.96
感染性胃腸炎	報告数	12,447	3,677	263	96	213	730	451	1,084	840
	定点当たり	3.94	3.86	3.51	2.00	3.74	4.51	3.37	4.15	3.89
水痘	報告数	904	289	31	12	9	75	34	75	53
	定点当たり	0.29	0.30	0.41	0.25	0.16	0.46	0.25	0.29	0.25
手足口病	報告数	31,009	8,547	304	236	429	1,539	901	2,835	2,303
	定点当たり	9.82	8.97	4.05	4.92	7.53	9.50	6.72	10.86	10.66
伝染性紅斑	報告数	237	101	5	1	3	32	13	24	23
	定点当たり	0.08	0.11	0.07	0.02	0.05	0.20	0.10	0.09	0.11
突発性発しん	報告数	1,639	557	29	28	31	112	71	158	128
	定点当たり	0.52	0.58	0.39	0.58	0.54	0.69	0.53	0.61	0.59
百日咳	報告数	46	9	-	-	-	2	2	2	3
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.01	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	8,288	2,484	72	51	163	333	545	663	657
	定点当たり	2.62	2.61	0.96	1.06	2.86	2.06	4.07	2.54	3.04
流行性耳下腺炎	報告数	1,619	371	15	20	71	76	41	68	80
	定点当たり	0.51	0.39	0.20	0.42	1.25	0.47	0.31	0.26	0.37
急性出血性結膜炎	報告数	10	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	661	273	23	11	17	66	28	25	103
	定点当たり	0.96	1.34	1.35	0.92	1.21	1.69	0.80	0.64	2.15
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	2	-	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.10	-	-	0.11
無菌性髄膜炎	報告数	29	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.06	0.03	-	-	-	-	-	0.04	0.11
マイコプラズマ肺炎	報告数	118	21	1	2	9	1	5	3	-
	定点当たり	0.25	0.26	0.08	0.29	1.13	0.10	0.56	0.13	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	0.13	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第32週

感染症発生動向調査 2017年

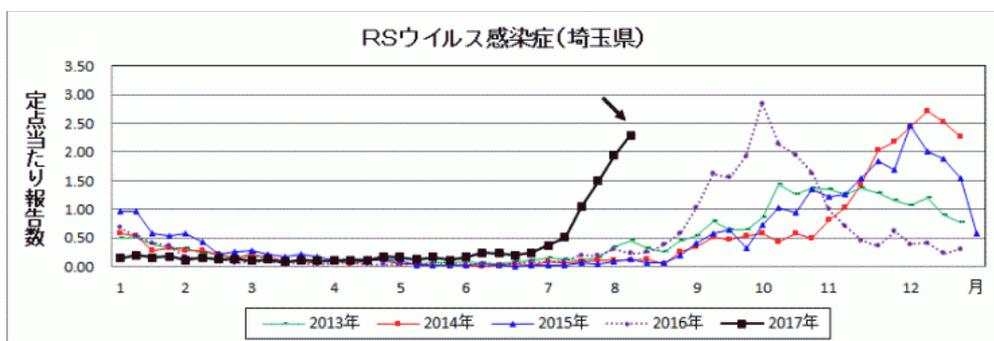
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)

感染症の流行状況 2017年 第32週

2017年第32週（平成29年8月7日～8月13日）の要点 平成29年8月16日

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、7月以降増加しています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑(りんご病)	↓	★
RSウイルス感染症	↑	★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★★
感染性胃腸炎	↓	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★★★	流行性角結膜炎	→	★★★

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン